

校長式辭 7月20日(火) 第1学期終業式
(放送)

あ ゆ み

～ その意味に込めた願い ～

みなさん、おはようございます。

令和3年度第1学期の終業式の日です。

4月8日の始業式、入学式の日から今日まで、お休みの日まで入れると104日ありましたが、みなさん本当によく頑張りましたね。

そのみなさんの努力は、目に見える形（成果）となって表れたり、目には見えなくとも、資質や能力としてみなさんの中に確実に身に付いていることはまちがいありません。

この後、各教室で担任の先生から通知票、「あゆみ」を渡していただきますが、その「あゆみ」の意味は…。

2年生以上のみなさんには、昨年度の修了式にお話ししましたので、覚えてくれていると期待はしていますが、改めてお話しします。

「あゆみ」という言葉には、一人で「歩く」という意味と、みんなで力を合わせて歩く「歩調」という意味があります。どちらの歩みもとても大切です。

この4か月間、みなさんが自分の足（力）でどう歩んできたのか。

同じクラスや学年の仲間と足並みをそろえて、どれほど前へ進むことができたのか。その一部を「あゆみ」に記しています。

校長先生は、こうも考えています。

あゆみの「あ」は、新しい目標を見つけるため。

あゆみの「ゆ」は、夢を叶える力を身に付けるため。

あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会うため。

今日この後、担任の先生から手渡される「あゆみ」第1学期編が、みなさんの成長や自信につながることを切に願っています。

そして、明日からの43日間の「よい時間の使い方」を通して、9月1日、みんなでまた新たなスタートを切り、もっともっと、自分の魅力に磨きをかけましょう。

本日の第1学期終業式で、子供たちに話した内容です。

今学期も、昨年3月よりより1年半も続く新型コロナウイルス感染防止対策下での教育活動ではございましたが、ご家族・地域の皆様のお力をいただき、子供たちとともに本日の終業式（放送でしたけれども）を迎えることができました。誠にありがとうございました。

お子様が、日々の学習や生活をはじめ、行事や取組に真っ直ぐに取り組み、失敗してもあきらめず、自分の目標に向かって頑張ってこられたのも、子供たち自身が「目標」をもって、途中であきらめずに取り組んだこと、保護者の皆様の健康管理や励まし等、大きな支えがあったからこそと、深く感謝しております。

暑い夏を迎えておりますが、お体には十分ご留意され、第2学期以降、また皆様とともにお子様をよりよくはぐくんでまいりたいと存じます。

今年度以上のご理解ご協力をお願いいたします。

校長 石井 宏明